1人1人が自立へ向かって、光ろう!

一灯焰褐

534人がみんなで光れば、

灯中はさらに輝く! 福井市灯明寺中学校 指導部通信 発行 福井市灯明寺中学校 8月 27日

生徒指導部

令和7年度 第8号

全国の舞台で灯中生が躍動しました!

☆7/19・20に行われた通信陸上で、灯中の男子100m×4リレーが優勝し、沖縄での全中(全国中学校体育大会)出場を決めました!

リレーチームは里村悠真・鰐渕應我・辰巳安悠太・白川時正・小笠原大空(3年)加藤海聖(2年)。その活躍は福井新聞にも取り上げられました!なお、この大会で優秀な成績を残し、共通砲丸投で石井綸(3年)、共通走幅跳で加藤結愛(3年)が北信越大会に出場しました(北信越では石井さんが4位入賞しました)。

全中出場を決めた男子リレーチームにインタビューをしてみました。

香をがいばるのは 当だり前の普段の 努力が大率」を放え くれます。 また「あいさつ」が

出てくるのも深いな

Q 通信陸上で勝てたのはなぜですか?

- ・日々の練習や挨拶。 ・一年の秋から個人個人で自主練をしていた。
- 放課後にみんなで、公園に集まって筋トレや練習をしたり、競技場を予約して練習しに行ったり努力したから。
- ・通信の1ヶ月くらい前から、寝る前にマッサージをして、どの日でも調子を万全にして、いつの練習でも本気で打ち込めるようにした。 ・リレー直前につり防止のため、水分を取ることを仲間で呼びかけ合ったこと。
- ・両親や友達、学校の先生方からの激励の言葉や熱い応援のおかげです。
- ・正直いろいろ言い切れないほどの問題、壁があったけど、みんなで乗りこえられました。

Th

-- Q 全中出場を決めた時の素直な気持ちは? ------

- 今までみんなとしてきた努力が実ったと感じて、涙が出るほどうれしかった。サポートしてくれたみんなに感謝したくなった。
- ・今までの努力が一気にフラッシュバックしてきました。興奮していてあまり覚えていないです。 次の日、親に「新聞に載ってる!」と言われた時に現実と気付きました。
- 友達がたくさん「おめでとう」と言ってくれてうれしかった。

☆沖縄県での全中(8/18)に灯中男子リレーチームが大健闘!

最後の最後まで切磋琢磨した6人のリレーチームが、全国の代表と競い合いました。目標の県中学新記録や決勝進出は果たせませんでしたが、福井県の、灯中の看板を胸に、バトンをつないでくれました。





【顧問の先生の宮本先生から】

「全中を終えて、先生は何を 感じましたか?」とインタビ ューしました。とてもいい話 を聞けたので、裏面に載せま した。読んでみてください。

☆大分県での全中(8/18)に男子ソフトボール:福井サニーズ BSC の一員として、灯中の3人が出場!

出場したのは中居奨悟(3年)河野伊月(2年)草元稜惺(1年)です。1回戦は宮崎県代表の門川中学校と対戦し、1回戦で宮崎県代表の門川中学校と対戦し、惜敗しましたが全力で戦ってきました。

猛暑の中でしたが、最後まであきらめずにボールを追いかけました。



- 【全中を終えた中居くんの感想】

キャプテンとして参加して、全国大会ならではの 緊張感や楽しさが経験できました。

この経験を次のステージにも生かしていきたいです。

灯中ってすごいね!



場所じかないって

ことを、みれてよ

実まけど 豆夏も



【顧問の先生の宮本先生から・・・】

全中を終えて

8月18日、沖縄の地でリレーメンバー達は $4 \times 100 \, \mathrm{mR}$ のレースを堂々と駆け抜けてくれました。お金では買えない、貴重な体験をさせてもらえたことに幸せを感じました。

里村さんは、最高のスタートダッシュを決めて、チームに勢いを与えてくれました。

鰐渕さんは、他県の強豪校のエースに見劣りしない力走を魅せてくれました。

辰巳さんは、抜群のコーナーワークで、全力でバトンを運んでくれました。

小笠原さんは、股関節の剥離骨折を乗りこえて、アンカー勝負で堂々の走りをしてくれました。

白川さんと加藤さんは、練習で全力で並走してくれたり、声を絞り出して応援してくれたり、一生懸命サポートしてくれました。

レースを終えての率直な感想は、達成感 5 0 %、悔しさ 5 0 %です。県中学記録更新、決勝進出をめざしてみんなで努力を重ねてきました。実際やれることは全部やったと思います。

チームベストを 0. 15 秒更新することができれば、TR 決勝(トライアル決勝)に進出することができました。 全国の舞台を経験できる喜びと同時に、全国の大舞台で実力を発揮する難しさも痛感しました。

みんなもそれぞれ自分の好きなこと、頑張りたいことに全力を注いで、日々努力している人が多いと思います。 だらだら手を抜くのではなく、楽な方に流されるのではなく、試行錯誤し、ちょっとでも上達するために全力を 尽くす。それが"楽しむ"ことだと先生は思います。

みんなのそれぞれの頑張りたいことに、今できる最善を尽くして、かけがえのない経験を掴み取ってほしいと願っています。

みんなの可能性は無限大です。仲間を信じ、そしてなにより自分自身を信じ、大きく成長してほしいと思います。 そして、みんなの周りには、あなたを信じ、支えてくれる人たちがたくさんいます。

陸上部の仲間は、ライブ配信を見ながら、福井の地から応援してくれ、すぐ労りいの LINE を送ってくれました。

灯中の先生方は、会議を中断して、職員室のテレビでライブ配信を見ながら、応援してくださいました。

リレーメンバーの保護者の方々は、お忙しい中、沖縄まで駆けつけてくれました。

石井さんは、素敵な横断幕をつくって、1人で飛行機に乗って沖縄まで応援に駆けつけてくれました。

「灯中ってあったかいな」と改めて心から感じました。

次は、君の番です!君は何だってできます!全力で応援しています。

この夏の思い出は、先生にとってかけがえのない宝物になりました。応援してくださったたくさんの方々、本当にありがとうございました。これからも全力で頑張ります。

宮本 駿